



# Nursing

# in TOKKY

会報「看護とうきょう」

Vol. 132  
2021. February



今号より  
スタート!

地区支部だより

新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

ごあいさつ .....	3
令和2年度教育部事業について .....	4
東京都島しょ看護職員定着促進事業のご紹介 .....	6
第18回看護フェスタ オンライン開催 .....	6
東京都会計年度任用職員（トレーサー班）育成研修報告 .....	7
子育て支援委員会活動報告 .....	7
感染対策指導者研修報告 .....	8
地区支部だより .....	9
図書室だより .....	16
東京都ナースプラザだより .....	17
会員係からのお知らせ .....	18
表紙の紹介 .....	19
公益社団法人 東京都看護協会 役員等の選挙について .....	19
事務局からのお知らせ .....	20

※「看護とうきょう」は協会ウェブサイトにも掲載しています。

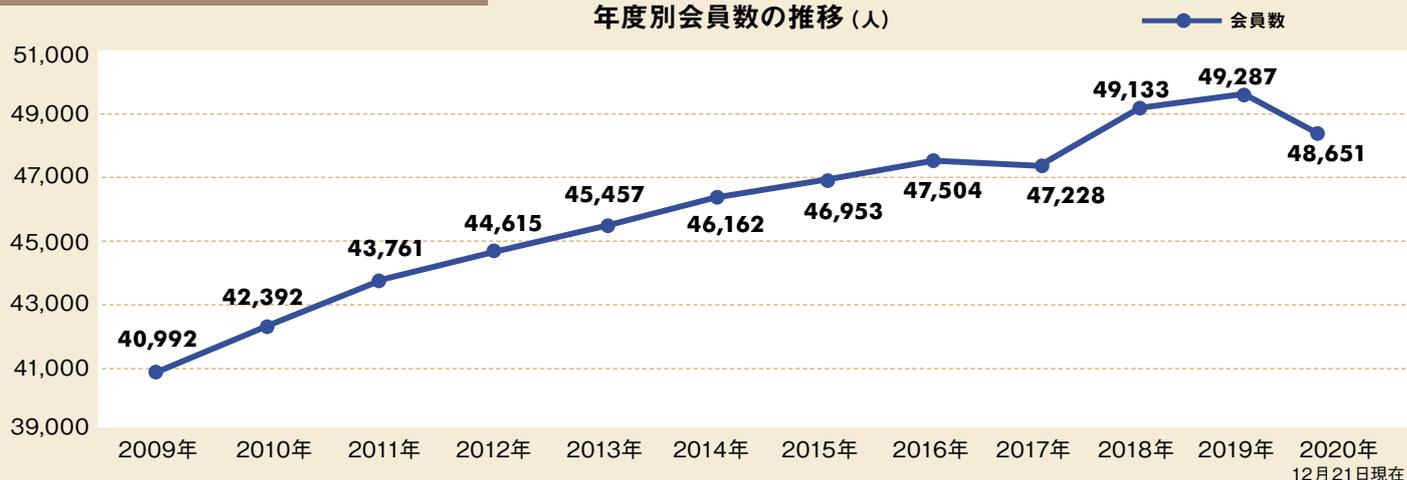
### 2020年度東京都看護協会会員数 **48,651名** (2020年12月21日現在)

	保健師		助産師		看護師		准看護師		計
	女	男	女	男	女	男	女	男	
就業者数	3,931名		4,088名		109,517名		12,565名		130,101名
会員数	415名	16名	2,235名	0名	42,105名	3,338名	486名	56名	48,651名
入会率	11.0%		54.7%		41.5%		4.3%		37.4%

就業数は平成30年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による

### 東京都看護協会会員数の年度別推移

年度別会員数の推移 (人)



# ごあいさつ

## 公益社団法人 東京都看護協会 会長 やまもとけいこ 山元恵子



会員の皆様におかれましては、日頃より当協会事業にご支援とご理解を賜り感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、医療体制の危機的状況下での活動に衷心より敬意と感謝の意を表します。今年度の活動はCOVID-19対策を強力に推し進めて参りました。

- 4月には「新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、外部の専門家を招聘し、迅速にCOVID-19の情報提供と実務支援、研修を実施しました。
- 研修やイベントはWebと対面のハイブリッド型に加え、研修生の都合に合わせて受講で

きるオンデマンド方式も導入、感染防止対策を強化するためオンライン開催に切り替えました。

- 協会職員はテレワークを導入し通常業務を継続、その他支援金の受付調整や医療物資無償提供、COVID-19に感染した看護職の見舞金制度創設、協会職員の大阪府・旭川市の医療機関への応援派遣を実施して参りました。

首都東京の看護職能団体として、関係団体との連携に努めながら先駆的、先進的な対策と活動の推進を図ってまいります。会員の皆様には、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 専務理事 わたなべちかこ 渡邊千香子



新型コロナウイルス感染症の対応で幕を開けた令和2年度も終わろうとしていますが、この感染症は相変わらず猛威を振るい終息する兆しが見えません。この間、本会は事業継続のために、研修などの多くを集合からWebにシフトし対応いたしました。また、防護具などの支援を始めとして、施設への直接訪問支援や業務応援、会員への見舞金支給なども新たに実施するなど、さまざまな対応をしております。これらの支援は、本会の事業活動をご理解いただいた多くの皆様の寄附により実現しております。皆

様方の暖かいご支援に心から感謝申し上げます。

会報は131号（令和2（2020）年9月末発行）から皆様のお手元に直接届くよう、個別配送となりました。住所変更等は「キャリアナース」で手続きが可能です。本会からお送りする重要なお知らせを速やかに正しくお届けするために、お早めに会員情報の変更をお願いいたします。

本会は次年度も“with コロナ”で看護職に求められる事業を継続してまいります。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 常務理事（教育部担当） おおはしすみえ 大橋純江



令和2年度、教育部では研修事業をストップしないために研修ごとに対策を検討し緊急事態宣言期間を除き、予定しておりました研修を実施いたしました。令和3年度も研修計画は会員全員のお手元に！をコンセプトに、タブロイド判でお渡しいたします。研修は実務実践研修を主として97研修、診療報酬に関連する、医療安全管理者・認知症・フットケアの3研修、認定看護管理者教育課程は例年通りファースト

レベル2回、セカンドレベル、サードレベルを各1回開催いたします。また、看護研究学会も開催を予定しております。教育部は、今年度も会員の方のスキルアップを支援してまいりますので、多くのご応募をお待ちしております。

## 常務理事（事業部担当） くろだみきこ 黒田美喜子



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応から始まりました。事業部では中小規模の病院、ケア施設等を皮切りに衛生材料の無償配布を実施しました。また、看護の日・両親学級・子育て支援事業・東京都受託事業のほとんどをWeb開催に変更しながらも継続してまいりました。そして12月には保健所支援のためのトレーナー育成研修も東京都から受託し、保健師

職能の甚大なご協力のもと3回の研修を実施することができました。令和3年度は引き続き地域ケアにご尽力されている看護職能のみなさんへの研修や情報提供、都民の健康を守るためのイベントや公開講座の事業を進めていく予定です。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

## 令和2年度(2020年)教育部事業について

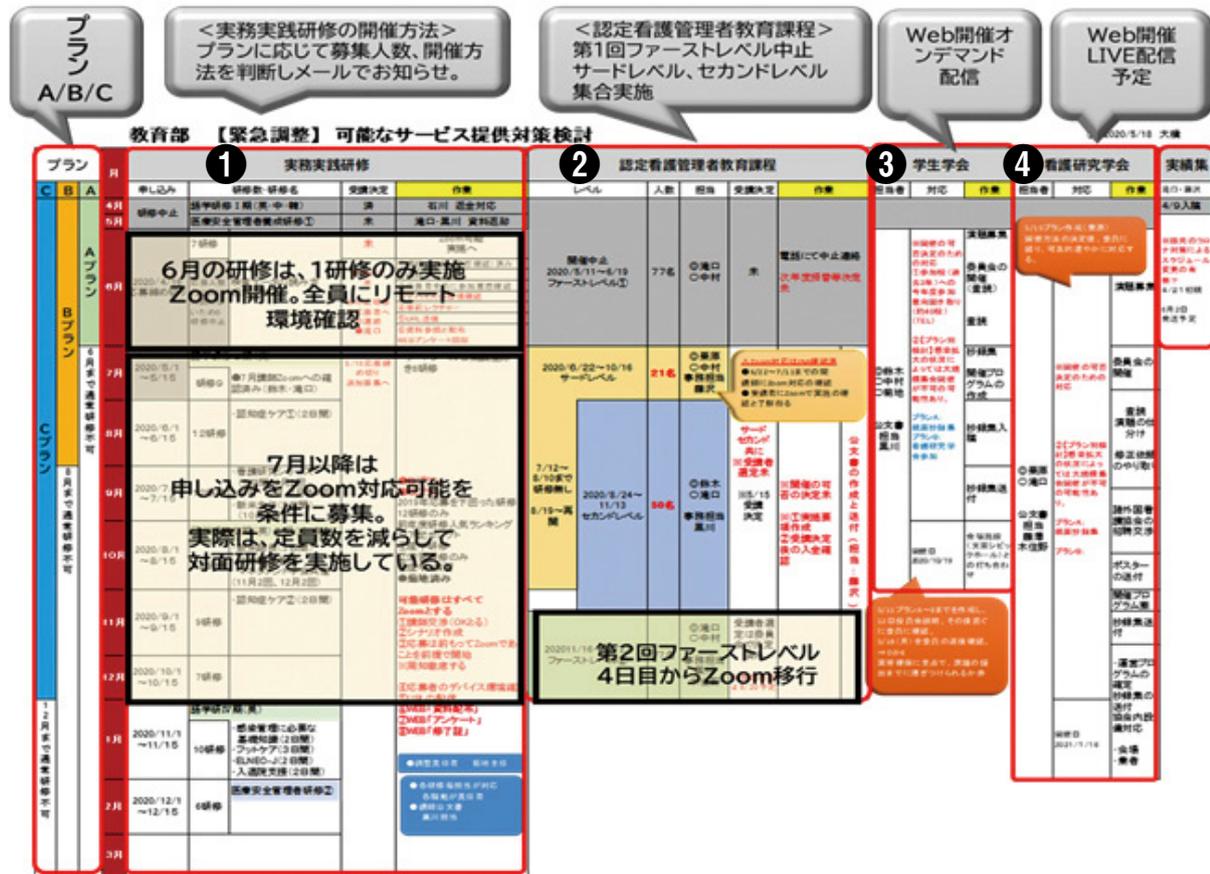
おおはしすみえ  
常務理事 大橋純江

令和2年度の教育部の研修計画は会員全員の手元に!をコンセプトに従来の冊子タイプから、タブロイド判に変更しました。今年度教育部の実践は、4月7日に政府から発出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、研修実施体制を早急に決定し、会員の皆様へ可能なかぎり研修提供を継続することを最優先にスタートしました。以下に、対応の経過をご報告します。

### ■新型コロナウイルス感染症感染拡大予防に対応するためのプラン策定

下図「教育部【緊急調整】可能なサービス提供対策」に示すように、大きく①実務実践研修、②認定看護管理者教育課程、③看護学生看護研究学会、④看護研究学会の事業について、感染拡大状況に応じて対応プランA・B・Cを策定しました。定款事業として重点事業である継続教育に関して、現地開催を基本としながら事態の急変を鑑みてWeb開催に変更することも想定しました。看護の現場では、多くの感染者対応で多忙を極め、緊急事態宣言も相まり研修への応募もかなり減少していました。

教育部【緊急調整】可能なサービス提供対策



### 【実務実践研修】

4月の第1回医療安全管理者養成研修と5月の研修は全て中止しました。6月は1研修のみWeb(Zoom)開催しました。初めてのオンライン受講での不安を軽減するため、リモート環境のチェックを受講者のスケジュールに合わせて個別対応するなど、バックアップ体制も万全に実施しました。緊急事態宣言解除後は、感染者が減少傾向であったため7月以降は定員を抑えて現地開催で実施いたしました。

## 【認定看護管理者教育課程】

5月11日スタートの第1回ファーストレベルは中止となりました。この回の応募者は、次年度の第1回目に優先振替としました。サードレベルは23名で6月26日にスタートしました。県外からの受講者1名はリモート参加となり、8月のお盆の3日間は全員がリモートで実施しました。

8月24日スタートのセカンドレベル52名は現地開催しました。11月16日スタートのファーストレベル第2回は72名（13名リモート、他集合）でスタートしましたが、3日目に東京都の「東京アラート」が発動され、都庁とレインボーブリッジに都民へ警戒を呼びかける赤い色の照明が点灯されたために、4日目から全員リモートでの参加となりました。12月18日、グループワークも含め円滑に進行し無事終了しました。

令和2年度 ファーストレベル受講者の皆さん  
総勢71名で、Zoom画面越しの記念撮影です。



▲座談会



▶口演発表

## 【第53回看護学生看護研修学会】

例年約1,700名の看護学生（教員含む）の参加がある「看護学生看護研究学会」。政府からも大規模イベントの開催自粛が要請されている状況を受け、6月の時点でWeb開催（オンデマンド配信）を決定しました。しかしながら、臨床での看護学生の実習受け入れが大幅に遅れるなど、現場も混乱しており、開催自体が危ぶまれる状況でしたが、開催日2週間前まで演題募集を延長した結果、13題応募があり、11月1日（日）の収録を実施することができました。Webでの開催は初めての試みで、本番直前まで試行錯誤を繰り返し、当日は大きなトラブルもなく、参加者の協力のもと終了しました。学生の学びの場を守るために、無事開催できたことは大変喜ばしいことでした。最終的にオンデマンド視聴予約は1,652名となりました。

## 【第54回 看護研究学会】

### New Normal Nursing 未来に向かう新しい看護！

2021年1月16日（土）にWebライブ配信で開催し、330名の方が視聴登録し、盛況のうちに終了しました。応募演題71題の中から、口演16題、示説39題を選定し、発表いただきました。

シンポジウムは、大阪市立十三市民病院の呼吸器部長、看護部長、感染認定看護師の3名にご登壇いただきました。5月1日に大阪府から新型コロナウイルス重点医療機関に設定され、「新型コロナ専門病院」となり、混乱の中、組織的にも奮闘しこれまでに多くの知見を得ながら職員と共に力を合わせて取り組んでいる様子を発表され、聴講者からは、「今まさにコロナと戦っている中で経験を詳細に語っていただき励まされた」、「前向きに取り組んでいこうと思えた」、「困難に立ち向かう際の具体的な方法を教えていただいた」など多くの感想が届きました。

初めてのWeb開催ではありましたが、チャットでの質問がタイムリーにやりとりされたり、距離感が近く感じて良かった等、好意的なご意見が多数でした。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

第54回 看護研究学会  
New Normal Nursing  
未来に向かう新しい看護！

開催方法 Web開催 <LIVE配信>  
日 時 2021年1月16日(土) 9:30~16:00  
参加費 会員 2,200円 / 非会員 3,300円 / 学生(含院生) 2,200円

大阪府立十三病院 日本初！コロナ 専門病院新設から学ぶ  
- 編成づくり、人づくり、未来づくり -

事前参加登録 (※会場にはWebでの事前登録のみとなります。)

2020年12月6日(日) 正午まで

【受付先】 03-6300-8554 (受付時間: 午前9時~午後5時)

## 東京都島しょ看護職員定着促進事業のご紹介

東京都島しょ部は伊豆諸島・小笠原諸島にある島のうち、人が居住している11の島、大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・小笠原父島・小笠原母島を指し、人口は25,339人（住民基本台帳人口令和2年1月1日）となっています。島の医療機関は八丈島に病院が1施設、他10島に11の診療所があり、85名の看護職が勤務、島民の健康を守っています。

東京都島しょ看護職員定着事業は、島しょへの出張研修や短期代替看護職員派遣を実施することにより、島しょ看護職員の勤務環境改善と定着促進を図ることを目的としています。

2019年度は4島に14回、11医療機関より14名の看護職を派遣調整しました。2020年度はCOVID-19感染拡大による厳しい医療体制の中、3島に4回派遣しています。

本事業は、看護職の代替にとどまらず、島の看護師にとっては最新の医療情報を得る機会に、代替派遣した看護師は新たな気づきを得られ、双方にとって異なるフィールドで多くの学びを得て貴重な経験を積める絶好の機会となっています。業務が終われば、素晴らしい大自然の中で最高の癒やしを得られることも魅力かもしれません。

事業の詳細は、東京都看護協会ウェブサイトをご覧ください。



**利島村**  
大島からヘリコプターで10分、人口約300人の島。島の8割が椿の木に覆われていて、椿油の生産量は日本一。信号もないのどかな島。



**青ヶ島**  
東京から358km、八丈島から70kmほど離れた絶海の孤島、青ヶ島。東京からの直行便はありませんが、飛行機とヘリコプターを乗り継げば東京から2時間で到着。人口は170人で、日本で一番人口の少ない村です。外輪山と内輪山（丸山）からなる二重カルデラというユニークな地形が見どころ。

## 2020年看護の日・看護週間

### 第18回 看護フェスタ オンライン開催

看護の心、ケアの心、助け合いの心を都民が分かち合うことができるよう、医療・福祉団体が協力し新宿駅西口広場イベントコーナーで開催してきた「看護フェスタ」。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、「第18回看護フェスタ」は初めてオンラインで開催することになりました。

「新しい生活様式」という言葉に代表されるように、日常生活におけるあらゆる場面においての常識が覆され、人々の健康や働き方、暮らし方に関する価値観が大きく変化しています。新型コロナウイルスと共存する社会を余儀なくされる中であって、日々感染しない、させないよう生きるための習慣やアイデアに、これまで以上に関心が高まっています。

この困難な状況にもかかわらず、医療・福祉サービスを提供しつづけている私たち医療従事者は、世の中の動きに合わせて、リアルで集まることができなくても、健康に関する意識の高い人たちへ、正確な情報を発信することで貢献できると考えています。ぜひ皆さんも、看護フェスタウェブサイトをご覧ください。そして、ご自身の知識や工夫を広める取り組みを実践してみたいかがでしょう。

<https://kangofesta.tna.or.jp/>



▲トップページ



▲コンテンツ

## 東京都会計年度任用職員（トレーサー班）育成研修報告

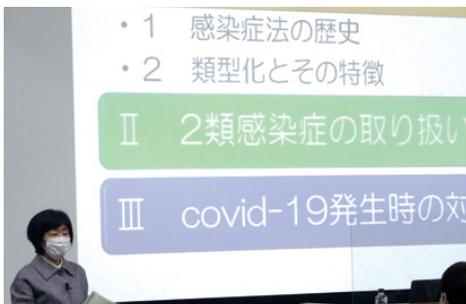
令和2年（2020年） 第1回 12月2日・3日

第2回 12月8日・10日

令和2年度東京都保健所支援拠点等における新型コロナウイルス感染症対策関連業務従事職員に対する育成研修等の実施事業を東京都から受託し、令和2年12月、2回にわたり研修を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策により業務負担が増大している保健所の支援を行うため設置される保健所支援拠点で、新型コロナウイルス感染症対策関連業務に従事する会計年度任用職員が100名程度採用され、支援拠点等に配置される予定となっています。本研修は、都が採用した感染症対応従事職員が、積極的疫学調査をはじめとする感染症対応に係る保健所支援業務に必要な知識を習得し、職務を遂行することのできる人材を育成することを目的としています。研修内容は感染症法について、面接技術、患者の搬送について、PCR検査について等多岐にわたり、感染防護具の着脱訓練も実施するなど内容の濃い研修となりました。また、テレビ取材を受けるなど、一般の方からの注目度も高い研修となりました。

東京都看護協会では、会員の皆様が看護職としての実力を十分に発揮できるよう、引き続き後方支援活動を強化してまいります。



感染症法の講義



感染防護具着脱指導



テレビ朝日スーパーJチャンネルの取材風景

### 委員会活動

### 子育て支援委員会

## 子育て支援委員会活動報告

子育て支援委員会では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参加者の皆様の健康を守るため、すべての事業において講義・イベントをオンライン開催としております。

特に両親学級は、中止となっている自治体や病産院も多く、出産を控えたカップルが受講できる機会が減っており、オンライン両親学級へは毎回多数の申込があります。

担当委員の助産師さん方と手探りで始めた配信も、試行錯誤を重ねた今では、参加者の反応をみながら双方向で講義や沐浴実演を配信するまでになりました。参加者からの満足度も高く、担当者のやりがいにもつながっています。今後もこのような新しい試みにチャレンジし子育て支援や交流の場を広げていきます。



▲すくすく広場  
(バッククッキングの様子)



出前授業▶  
駒澤学園女子高等学校  
2年生 175名参加

◀両親学級



▲すくすくフェスタ

\*どなたでも視聴できます\*  
東京都看護協会ホームページ  
→都民の皆様へ →すくすくフェスタ  
→すくすくフェスタ2020

## 新型コロナウイルスの感染対策支援を強化しています。

東京都内医療機関、福祉施設等の看護職を対象としたオンデマンド配信と集合演習を組み合わせたハイブリッドの新研修「感染対策指導者養成研修」を2020年10月20日(火)より開講いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染状況が拡大傾向にある東京都内において、即戦力として活躍できる人材養成を目的としています。

研修はAコース、Bコース、Cコースの3コースとなっており、今回ご紹介するAコースは定員100名のところ515名の応募があるなど、看護職の皆様から大いに注目を集めるプログラムとなりました。申込スタート即日に定員に達したため、急遽定員を200名に増員して実施しました。

受講対象は全看護職。主に200床未満の中小規模病院から感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師の配置がない施設を優先条件とし受講者を選定、自施設内において感染対策の指導を行うために必要な知識・技術を習得しました。

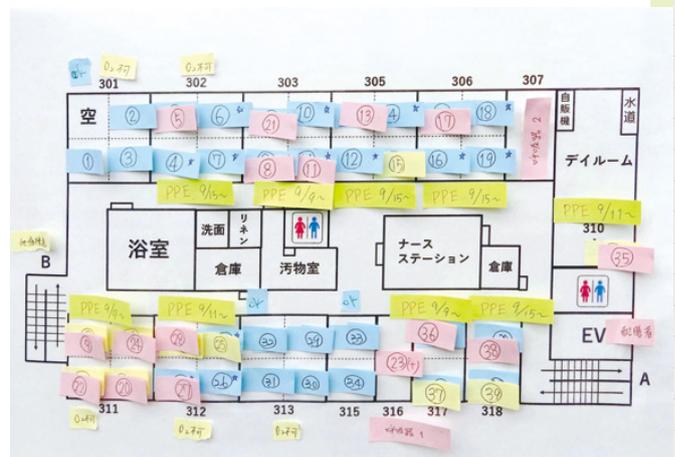
この研修では、オンデマンド学習をふんだんに取り入れ、時間や場所にとらわれず、都合に合わせて自分のペースで視聴できることも特徴となっており、多忙な看護職の皆様からは、効率良く学べると好評をいただきました。

集合演習では、提示された事例を元に自分がとるべき行動を考えるケーススタディを行い、活発な意見交換がされました。アクションプラン発表では、発表を聞き自施設において今後どのように活用するかを考え、研修後には「感染対策の基礎知識を復習できた」、「自施設においての問題点・課題が明確になった」、「今後の自施設の感染対策に活かしていきたい」等の声が多く寄せられました。

東京都看護協会では、新型コロナウイルス感染症対策を強化、継続して看護職の皆様を支援いたします。今後の研修計画等につきましては、ウェブサイトをご確認ください。



オンラインで演習実施



ケーススタディ

# 地区支部 だより

東京都看護協会は、6地区支部の連携のもと地域ニーズをとらえ、より地域に密着した協会活動を行っています。各地区支部では、看護に関する研修や研究会を実施し、地域の保健衛生の普及向上や「看護のこころ」の普及啓発にも取り組んでいます。

## 東部地区支部

東部地区支部広報委員：真柄・大木

### 東部地区支部地域で活躍する認定看護師をご紹介します

東京女子医科大学東医療センター 救命ICU 救急看護認定看護師 齊藤 静香

当院は区東北部唯一の救命救急センターで、年間1,900件前後の3次救急患者に対応しています。急性期患者は急変リスクが高く、急変時対応や急変前アセスメントなど看護師の判断が予後を左右します。そのため全看護師を対象としたBLSや臨床推論研修を開催し救急看護の質向上を目指しています。

また当院は災害拠点中核病院で、発災時には多数傷病者対応の役割を担います。そこで毎年災害看護研修を行い、災害時活動できる人材育成に取り組んでいます。

院外では東京DMAT、日本DMAT隊員の活動をしています。昨年台風15号による大規模停電発生時、日本DMAT隊員として千葉県被災地支援に行きました。その中で、それぞれの思いに寄り添い、支えになる看護の必要性和重要性を学びました。

院内外の活動を通し、患者、家族ファーストの看護を心掛け、救急看護認定看護師の役割を胸を張って担いたいと考えています。



東京DMAT「病院支援に行ってきました」



日本DMAT千葉被災地支援中

院内防災訓練中

### 「こんなこと考えて、研修会のテーマを決めています」

東部地区は中小規模の医療機関も多く、それぞれの職場で全ての研修をまかなう事が難しい所もあります。そのため研修内容は、認定看護師の力を地域でも役立てていただきたいとの願いから、地区で活躍する認定看護師にスポットをあてて計画してきました。そのため、内容は看護師が遭遇する日常ケアに活用できそうなことを選んでいきます。

もしものときの為に学ぶこともとても重要です。しかし、いつ使うかわからない情報は、記憶に定着しにくく、学習が文字情報に留まってしまい活用に至らないこともあります。そこで、比較的遭遇

率の高い身近な内容を扱うように工夫しています。

興味の対象や、詳しく知りたい事は人それぞれです。また、学びたいと思うタイミングもそれぞれだと思いますが、日常の看護で「もっと何とかできないかな?」と感じたときは、ぜひ東部地区支部の研修をのぞいてみていただければと思います。

東部地区支部では、新型コロナ感染拡大をうけ、今年度計画されていた地区支部研修を行うことができませんでした。しかし来年度は、感染に配慮しながら、一人でも多くの方が興味を持って参加できるように工夫したいと考えています。次年度をお楽しみに。

東部地区理事 佐久間 あゆみ

## 西部地区支部

### 研修会開催報告

西副地区支部広報委員：木村・齋藤 北副地区支部広報委員：加藤・一番合戦・坪・羽場崎

西部地区支部では、令和2年度の研修について「フィジカルアセスメント」をテーマとし、シリーズ化し開催しました。山内先生の「フィジカルアセスメント」の講義は単発の参加でも理解しやすい内容となっており、昨年に引き続き大変好評の研修となりました。

全4回の開催をし、多くの方にご参加いただき、開催後のアンケートでも、多数の参加者が「大変わかりやすかった」「重要性に改めて気が付いた」と回答された研修となりました。

#### 【研修概要】

講師：山内 豊明先生（放送大学大学院文化科学研究科生活健康科学教授）

全4回シリーズ「フィジカルアセスメント」

会場：東京都看護協会 13:00～16:00

第1回 令和2年8月15日（土）急変予測 参加者 56名

第2回 令和2年11月28日（土）呼吸器 参加者 41名

第3回 令和3年1月16日（土）循環器 開催中止

第4回 令和3年1月30日（土）中枢神経系・感覚系・運動器系 開催中止

第3回・第4回の地区支部研修につきましては、1月8日から2月7日を期間として、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県（1都3県）を対象に緊急事態宣言が発出されたことを受け、研修会の開催は中止となりました。なお山内先生の「フィジカルアセスメント」は非常に好評のため、令和3年度の地区支部研修でも計画いたします。



#### アンケート（抜粋）

【今後受けたい研修テーマ】

- ・認知症ケア・呼吸リハビリ・BLS・急変対応
- ・浮腫・パンテー지의仕方・介護施設での看取りケア
- ・エンドオブライフ・エンゼルケア・社会福祉

【ご意見、ご感想（抜粋）】

- ・とても分かりやすかった（複数）
- ・病棟で役立てたい（複数）
- ・看護師3年目でも分かりやすい内容だった
- ・バイタルサインの重要性に改めて気づいた（複数）
- ・今まで道具に頼っていたが、バイタルサインの測定は五感が大切だと知った
- ・研修会場の予防対策が完璧で安心して受講できた

#### 西部地区支部広報委員より

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、世の中の生活環境が随分変動しました。皆様の部署でも色々とお苦労があったと思います。どうぞ体調を崩さないよう、お過ごしください。

南部地区支部では、それぞれの地域で患者や住民の方々のニーズに応えられるよう、研修計画を立て、実施しています。今回は10月、11月に実施した研修について報告します。

南部地区支部 広報委員 <sup>いずみくにとし</sup> 出水訓寿 <sup>すずき かい</sup> 鈴木海 <sup>よこた かずこ</sup> 横田和子 <sup>たかまつ ようこ</sup> 高松洋子

## 看護に活かす心電図

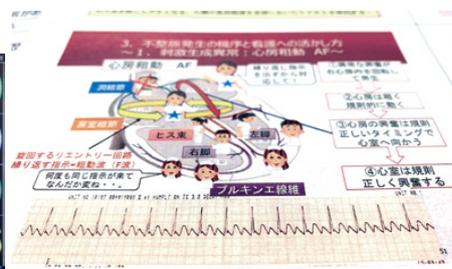
### 【研修概要】

2020年10月23日（金） 18:30～20:30

会場：東京都看護協会 参加者：44名

講師：日本赤十字社医療センター 集中ケア認定看護師 青山 道子先生

心電図の基礎知識を学び、心電図の波形を理解し、正常・異常の判読ができることを目的に開催しました。研修後のアンケート結果では、研修の理解度は、「理解できた」「まあまあ理解できた」が97%を占めていました。また、満足度は、「満足できた」「ほぼ満足できた」が98%を占めています。研修参加者の感想には、「図や絵による説明が多くとてもわかりやすかった」、「心電図の見方、心電図の波形の変化による看護介入の考え方など、実践に活かせることを多く学ぶことができた」、「心電図は、苦手な分野だがとても分かりやすい例えの講義内容であり、モニターを見るのが楽しみになった」、「心電図だけでなく、看護ケアにつなげて学ぶことができた」など、研修での学びを現場で活かすことができる研修となりました。



## 高齢者看護

### 【研修概要】

2020年11月13日（金） 18:00～20:00

会場：東京都看護協会 参加者：41名

講師：昭和大学藤が丘病院 認知症看護認定看護師 松本 明子先生

この研修の参加者の約54%が経験年数4年目までの看護師。その他、経験20年以上の方も参加するなど、幅広い経験年数の方が参加された研修となりました。研修後のアンケート結果では、研修の内容は、「理解できた」「まあまあ理解できた」が8割、満足度については、「満足」「ほぼ満足」が8割と満足度の高い研修でした。研修参加者の感想には、「せん妄・認知症について理解でき、どのような違いがあるのか学ぶことができた」、「患者さんの既往歴や生活背景などの情報収集からアセスメントすること、生活のリズムを整えること、せん妄が軽くなるケアを認知症の患者の立場になって考える必要性を改めて感じた」などケアの本質と自らの関わりを見直すきっかけとなる研修となりました。



### 南部地区支部広報委員より

新型コロナウイルス感染症の感染が続いておりますが、感染予防対策をし、皆様のニーズに沿った研修を今年度も無事に開催することができました。まだまだ厳しい状況ではありますが、会員の皆様との交流や連携を大切にしたい活動ができればと思っております。

## コロナ禍における院内研修の取り組み

日本医科大学付属病院 看護部・教育支援室

佐藤憲明 白畑恭子 鈴木真由美 榎由里  
副看護部長 鈴木由美  
看護部長 鈴木智恵子

当院における看護教育の枠組みは、就職年度に受講する新人看護師教育、受け持ち看護師育成、リーダー看護師育成など、ジェネラリストの基礎を育てるステップアップ教育と、看護技術や最新の治療論を学ぶスキルアップ教育に分類しています。多くの教育は講習会場に集合した研修スタイルですが、近年力を入れはじめたのがe-ラーニングやシミュレーション教育です。e-ラーニングは、個人のレベルに応じて知識の充足を繰り返し学習することができ、シミュレーション教育では、臨床現場で遭遇する事例など、シナリオを用いて体験型学習を行います。この教育を効果的に学ぶには、基本的看護技術の習得が必要です。特に知識や技術が未習熟の初心者には、看護技術を繰り返し行うタスクトレーニングが重要となります。

コロナ禍で迎えた今年度は、先ず新人看護師の教育方法が課題となりました。感染拡大の防止を優先し、すべての集合型研修は中止するとともに新人看護師は1週間の在宅勤務としました。その間は、e-ラーニングによる学習で知識を養い、出勤後は配属部署による分散教育で、OJTを中心とするタスクトレーニングを各部署の教育担当者および実地指導者が実施しました。課題となるのが分散型における教育方法の統一ですが、院内の看護手順部会や専門・認定看護師とともに新人看護師演習指導ガイドを作成して各部署の教育担当者と共有しました。またタスクトレーニングで使用する教育資料や

物品は予め準備をし、全部署に用意しました。各部署では、日程別の教育計画を立案し、部署内の実施指導者と共有していくことで、分散型の新人看護師初期研修を実施していきました。入職初期に実施した初期研修は、再教育を繰り返しながら評価をしています。

新人研修以外の院内教育は、従来の集合型のスキルアップ教育をオンタイムで受講するオンライン配信とオンデマンド方式により、多くの看護職員が学習会に参加できる環境を整えました。講習会場に集合しなくても、少人数で複数の会場をオンラインでつなぐハイブリッド型研修により人との物理的な距離も保ち、グループ討論も取り入れた研修会の開催を実現しました。研修を受けた看護職員からは、コロナ禍でも学ぶことができ嬉しいとの声が多く寄せられています。

スキルアップ教育は、業務時間外に自主的に参加する講習会です。オンライン配信の準備には、各部署へのPC端末の配置やインフラ整備を行い、今年度は50テーマにおよぶ講習会を開催し、昨年度よりも多くの看護師が参加しています。

コロナ禍の今、医療環境は逼迫しています。このような状況下であるからこそ看護師の専門職としての意識を保つために看護教育の充実は重要な課題です。春には、コロナ禍の制限された環境で教育を受けた新人看護師を迎えますが、令和2年度の教育体制の評価をもとに一層充実した教育体制を構築していきたいと思えます。



コロナ禍における院内研修

## 新型コロナウイルス流行下におけるメンタルヘルスの取り組み

東京医科歯科大学医学部附属病院 精神看護専門看護師 <sup>まつ おかひろ み</sup> 松岡裕美

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）第三波が到来しましたが、メンタルヘルスを担当する私の仕事内容は、COVID-19流行前とさほど変わらないものに戻っています。個々それぞれが、COVID-19でもたらされた変化に順応しつつあるのかも知れません。

昨年度末、「コロナ病棟開棟準備をしている看護師たちが辛そう。サポートしてもらいたい」と新型コロナ対策本部から私に声がかかりました。看護師の話に耳を傾ける中で見えてきた“辛さ”は「安全感の欠如」「緊張の持続」「罪悪感」「社会からの孤立感」「ケアをめぐる不全感」「先行きの見えない不安」で、心理的にかなり追い詰められていることがうかがえました。このような心理状態は他の職種にも起こり得るだろうと考え、産業医、精神科、緩和ケアに協力依頼をしてメンタルヘルスケアチームを立ち上げたのが4月はじめです。メンタルヘルスケアチームでは、COVID-19対応をする職員にメンタルヘルスケア面談を実施しました。今は、Webでの定期健康調査を継続しています。

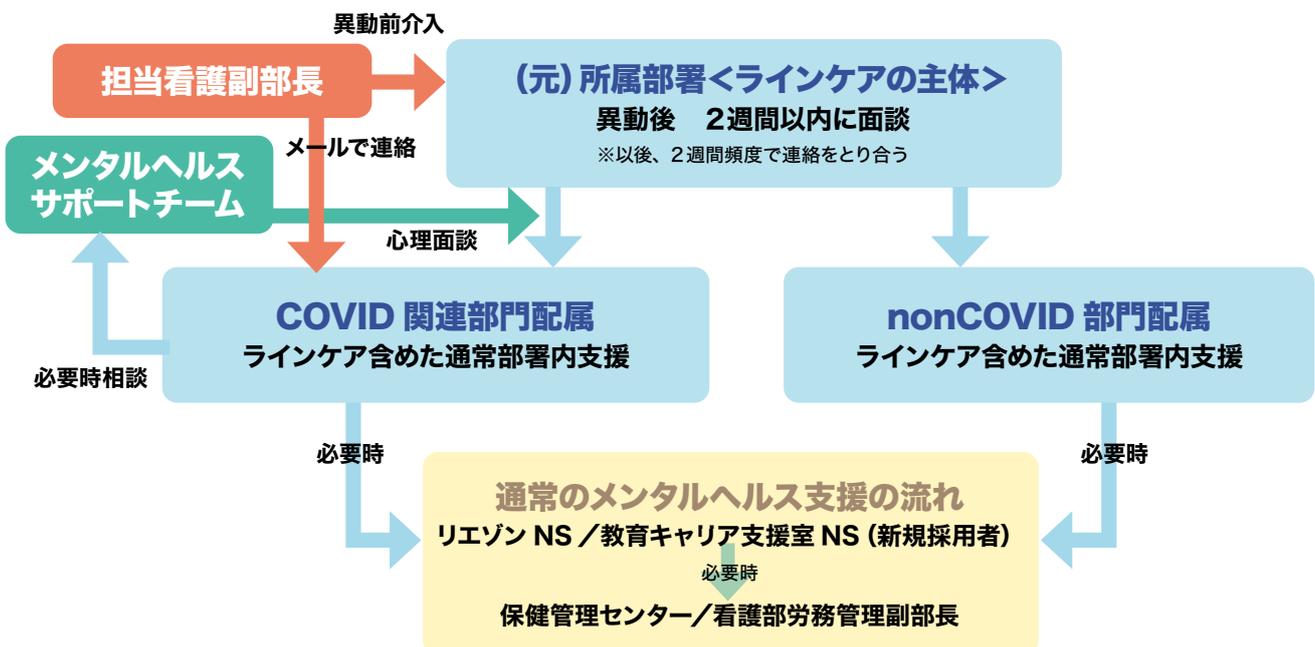
看護師との面談では、「方針が分からない」「何をやるのか聞かされていない」など情報の不足や誤りによって生じた不満や不信、さらには精神的動揺が見えることがありました。第一波以降、組織として情報発信には注力してきましたが、目まぐるしく変化する状況にさまざまな歪みが生じていたのも事実です。平常時であればいずれ修正できますが、緊急時には個人レベルでも組織的にも重大な問題になりかねません。事態が悪化

する前に何かやれることはないか…そう考えて「ご意見箱」を各部署に設置し、投函された意見を看護部長に届けました。些細な工夫ですが、かなり多くの情報交換がされたと思います。

とくに初期、コロナ病床を増やすために複数の病棟が閉鎖され、多くの看護師が異動しました。異動者はもとより、馴染みのない看護師や患者を受け入れる側にとっても大きなストレスです。COVID-19に注目が集まる中、コロナ病棟以外で病院機能維持のために尽力する看護師たちも疲れ切っていました。メンタルヘルス担当者だけで太刀打ちできる状況ではありません。職員全体のメンタルヘルス維持には予防が重要です。混乱の中、予防の鍵となるラインでのケアが滞らないように、ラインケアに関する申し合わせ事項を作成してメンタルヘルス支援体制の強化を図りました。また、COVID-19対応をする看護師には、労務担当、教育担当、感染管理認定看護師と協働で「PCR、宿泊施設、保証などに関するオリエンテーション」「COVID-19に関する知識提供とPPE実技」「メンタルヘルス面談」を組み合わせたパッケージレクチャーをはじめました。

COVID-19流行下で私が行ったことの多くは予防対策です。今までのところ状況に合致してうまく機能したと思っていますが、緊急時の対策がこの先有効だとは限りません。COVID-19対応を通して、必要なことを粛々と行う看護師の逞しさを感じました。一方で、状況に対して無力さを抱きやすいという脆さも垣間見えました。いま看護は進化のときを迎えています。臨

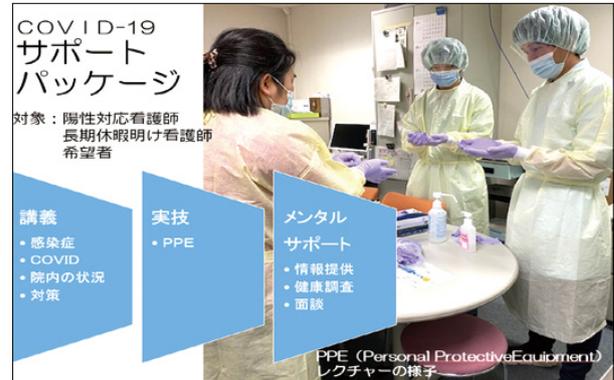
院内 COVID-19対応に関連した看護職員へのメンタルヘルス支援の流れ



床現場に適応するためには、一人ひとりの看護師が自分の考えを示し、決定に責任を持ち、柔軟さと人を巻き込む力をつけ、発展的な変化を生み出す必要があります。看護師を支えるメンタルヘルス支援のあり方も、当然発展せねばなりません。そんなことを考えながら、自分がなすべきことは何か模索しているところです。



ご意見箱



COVID-19サポートパッケージ

## COVID-19流行下における院内研修の取り組み

医療法人社団哺育会 浅草病院 看護部教育委員長 <sup>ひらやまりさ</sup> 平山里沙

当院は台東区浅草にある136床の病院です。ここ浅草、下町で地域に根差した病院の役割を担っています。もちろん看護師も下町の雰囲気そのままに、スタッフ同士助け合い、温かな思いやりのある看護が提供できるよう、日々励んでおります。

当院は上尾中央医科グループ（以下 AMG）に属しており、教育体制として AMG 看護局から下ろされた AMG キャリアラダーシステムで研修を組み立てています。それぞれのラダーレベルに合わせた研修を受け、自己のキャリア形成に活用しています。しかし今年度は、COVID-19の影響により、例年行っている集合での研修が実施できず、研修の実施方法も大きく変えることとなりました。

例年5月～1月の中でレベル毎に研修を組んでいました。しかし今年度は、集合研修を10月～12月の2カ月に縮小して開催しました。そのため、研修の項目を安全と倫理にしぼり、参加者も少なくし、分散させ実施しました。その代わりに、新人看護師には所属部署での OJT を、例年より手厚く行えるよう教育委員で共有し、部署内での調整をしました。各部署の教育委員以外のスタッフにも協力を依頼することも多かったですが、同時に現任スタッフの育成にもつながったと思います。結果的に、経験の浅い看護師が、新人に業務の中で関わる時間が増えたことは、双方に良い影響を与えたようでした。

また、今年度より、AMG 看護局から e-ラーニングの配信が開始となりました。11の項目ごと、レベルごとにわかれています。まずは、ラダーレベルⅡ・Ⅲの倫理研修に活用しました。講師が同じ AMG グループの看護師であったことは、興味を引く一因となったようです。また、資料がダウンロード

できること、講師の話し方も聞きやすく、わかりやすかったとの感想が多くみられました。ただ、一方向での研修になるため、グループワークやロールプレイ等と組み合わせる方が良さそうな印象もありました。e-ラーニングの内容は、今後ブラッシュアップされていくということでしたので、今後は有効に活用できたら良いと考えています。

COVID-19の流行により、今までは考えられなかった事が起こり、この短期間で病院内外共に、多くのことが変わりました。その中で、私たちは看護の質を保ちながら、多くの変化に対応していかなければなりません。院内研修の方法や内容の見直し、教育委員を中心にスタッフを巻き込んでの新人指導等、後追いとなることもありましたが、病院の中でできることを考え動くことができたと思います。そして、研修のあり方を見直す良いきっかけとなりました。まだまだ発展途上ですが、グループ病院の強みを生かしながら、次年度の院内研修の企画、運営を考えていきたいと思っています。



COVID-19流行下における院内研修

### 中部地区支部広報委員より

新型コロナウイルスの流行により研修は従来の企画運営では行えなくなりました。しかし、人数制限など徹底した感染対策を講じて研修を実施することができました。特集記事が各施設での参考になればと思います。

中部地区支部広報 <sup>よしいいめいこ たるやうこ</sup> 吉井明子・田宮優子

## 教育活動報告

多摩北地区支部教育委員会では、会員の資質向上と会員相互の交流・親睦を目的として研修の企画運営を行いました。今回は認知症看護をテーマとして開催した研修について報告します。

多摩北地区支部広報委員 <sup>かわぞえ</sup>河副ゆかり <sup>あべちゆき</sup>阿部千幸

### 【研修概要】

#### 研修テーマ 認知症看護

日 程：令和2年（2020年）11月7日（土）

会 場：立川病院 トリアージ棟

講 義 1：認知症患者の看護を深める

研修目的：身体拘束による弊害を理解し、認知症のある人へのケアについて考えることができる

講 師：吉沢 奈美先生

社会医療法人大和会 東大和病院 認知症認定看護師



講 義 2：認知症患者の看護を深める

研修目的：組織という視点から身体拘束のいらないケアの実践について学ぶ

講 師：中村 友美先生

社会医療法人大和会 東大和病院 認知症認定看護師



研修は具体的な事例も豊富でわかりやすかった等、大変好評でした。参加者の皆様から寄せられた感想をご紹介します。

### 国立精神神経医療研究センター 太田 弥世さん

自分のケアについて振り返る機会であると同時に、自分の病棟において個々の看護師は果たして統一した看護ができていのかと考え直す良い機会となり、自分一人が看護をしていても患者さんにとって良いケアとなっているのかを問い直すことができました。「何回も同じことを説明しているのになかなか理解してもらえない、どうしたら良いのだろう……。」と悩むこともよくありますが、これを機に他の看護師がどのような説明をしているのかに着目し、統一した看護ケアができるよう働きかけていけたらと思いました。

### 多摩北部医療センター 押本 真理子さん

今回、「身体拘束」という看護の今日的課題を中心にした事例を含んだ研修を受講することができ、明日からの業務に活かしたいと思っています。当院でも身体拘束最小化委員会を3年前に立ち上げ、医師やスタッフとともに取り組んでいますが、医療安全との兼ね合いなど課題は多くあります。次年度は、身体拘束につながりやすい“せん妄”に対する研修も企画していただけると幸いです。

### 公立昭和病院 菅原 奈奈子さん

吉沢先生のご講義では、最後の「認知症の本人からあなたへ贈る希望の言葉」がとても印象に残りました。日々の関わりで、つい“できないこと、守れないこと”に目を向け、注意・抑制してしまいがちですが、“こうしたらできる・こう手助けすれば守れる”という知恵と工夫で、難しいことも乗り越えられるのではないかと希望がもてました。

中村先生の講義のまとめにあるように、認知症看護に限ったことではなく、日々の行う看護について、みんなで意見を出し合い、同じ思いをもって向き合うこと、その日々のケアを振り返ること（いつもしていること、当たり前だと思って行わない）、うまくいったことを共有する等といったことが重要であると改めて学びました。ありがとうございました。

## 多摩南地区支部

### 「チームワーク・つなぐ。多摩」トリプルTで進む

～地域ネットワークの構築へ、看護職の持てるチーム力を集結しよう!!～看護力と連携力

多摩南地区支部では、地域のみなさまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「看護力と連携力」のさらなる強化に努め、活動しています。

多摩南地区支部広報委員 かわ かみじゅん じ 川上順二 おぎわら あゆみ 萩原 歩

#### 【研修会報告】

#### 多摩南地区乳がんセミナー [オンライン開催]

#### 「看護に活かせる乳癌の検診・診断からの最新治療トピックス」

講 師：明石 定子先生

昭和大学病院乳腺外科 教授

共 催：ファイザー株式会社

令和2年10月10日に「乳がんセミナー」を開催しました。今回は COVID-19感染予防対策として、初のオンライン研修でした。年々増加傾向にあると言われている乳癌ですが、その発症要因やリスクを減らす方法、術式の変遷や遺伝性乳癌についてなど大変興味深いお話を聞くことができました。また、「目で見る乳がん」ということでTNM分類を示されながらの説明は、参加者から非常に分かりやすかったとの声が聞かれました。質疑応答もオンラインならではのチャット機能を使用して寄せられ、大変盛況に終わりました。

#### 参加者のコメント

- ・乳癌治療の最新情報を得ることができた
- ・とても勉強になった
- ・分かりやすかった
- ・チャットで質問することができて良かった
- ・Web配信は簡単・便利で良かった
- ・今後も Web 配信の研修会を開催してほしい



## 6地区支部それぞれの力

今後も6地区支部ごとに、地域の力で様々な課題に取り組み、特色ある取り組みをすすめて参ります。東京都看護協会は、看護の力を発揮し、6地区支部の総合的な支援とともに、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた施策を着実に推進し、地域の人々の健康な生活の実現に寄与していきます。

## ～プレゼンのコツ～

前回までの図書室だよりでは論文・レポートを書くステップについてご紹介しました。

今回はまとめた論文・レポートを人前で発表するプレゼンテーション（以下プレゼン）のコツをお伝えします。コロナ感染症予防から、オンライン会議が増え、PC画面越しに話す機会も多いのではないのでしょうか？得意な方も、苦手な方も、この機会にぜひプレゼンを見直してみましょう！

### ◆プレゼン成功の3ステップ

さまざまなプレゼン方法がありますが、ここでは学会や院内での症例検討の場、さらにはオンライン会議で発表を行う場合を想定して、次の3ステップをおすすめします。

- ①ストーリーを組み立てる
- ②スライドを読まない
- ③聴衆のことを考える

作成したスライドを読み上げても聞いている人は飽きてしまいます。伝えたい内容をストーリーに組み立て、スライドにはポイントを掲載し、それ以外の情報を伝えるようにしましょう。さらに聴衆のことを考えて、内容はもちろん、スライドの文字の大きさや色彩、話すスピードや抑揚などを工夫するようにしましょう。

### ◆おすすめ参考図書

以下に紹介する3冊は、プレゼンにおすすめの参考図書（すべて東京都看護協会図書室にあり貸出可能）です。



#### 『続・あなたのプレゼン 誰も聞いてませんよ！』

渡部 欣忍 / 著 南江堂2017

スライド作成の修正前、修正後も掲載。よく使うテクニックやポスター発表に役立つ情報も。

#### 『9割捨てて10倍伝わる「要約力」最短・最速のコミュニケーションで成果は最大化する』

山口 拓朗 / 著 日本実業出版社2020

相手の時間を奪わずにいかに情報を伝えるか「要約力」について掲載。



#### 『技術1割のプレゼン』

阿部 泰之 / 著 中外医学社2018

聴衆のことを考えるきっかけに。色覚バリアフリーについても掲載。



### ◆Q&A

**Q.** プレゼンを準備する時間がありません！ しかも緊張します！

**A.** 一番伝えたいことは何かを明確にし、必要最低限のスライドを作成します。伝えたい内容に注力することで緊張も和らぎます。また、緊張する原因そのものを探ることも効果的です。「失敗がこわい」「企画そのものに自信がない」など、プレゼン以前の問題である場合が多く見受けられます。

そのほか資料に関するお問い合わせは東京都看護協会図書室まで、皆様のご利用をお待ちしております。



# 東京都 ナースプラザ<sup>だより</sup>

## ナースプラザにおける新型コロナウイルス感染症への対応・取組みについてご紹介します

東京都ナースプラザは「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、東京都の指定を受けたナースセンターとして、看護職の確保・定着に関する4つの事業、

①ナースバンク ②研修 ③看護に関する普及啓発 ④看護職員地域確保対策 を行っています。

<https://www.np-tokyo.jp/>

### 1 ナース バンク

#### COVID-19感染拡大時の看護職の確保に取り組んでいます！

##### 【看護職へ支援登録を呼びかけ】

令和2年4月以降、看護職のCOVID-19支援者の登録を始めました。登録者は現在241人です（令和2年12月1日）。支援登録者へはCOVID-19特化求人が出た際に、求人情報を提供しています。COVID-19感染拡大を乗り切るために、看護職のみなさんご協力をお願いいたします。

##### 【COVID-19特化求人への人材支援】

クラスター発生した病院や、保健所、宿泊施設、検疫所等のCOVID-19特化求人への人材支援を行っています。延べ130人の求職者が就業しています。COVID-19特化求人は、eナースセンターの他、求職者への一斉メールや東京都ナースプラザホームページで求人情報を提供しています。バンク職員が求人票作成等のシステム処理もお手伝いいたします。

全て無料となっておりますので、お気軽にご相談ください。

【問合せ先】 COVID-19支援へのご登録や求人はお電話ください。  
ナースバンク東京 03 (5309) 2065

### 2 研修

#### ZOOMによるオンライン研修実施！

「オンライン授業」「オンライン飲み会」など、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、インターネットを介して集まる機会が増えました。東京都ナースプラザでも、昨年9月から「実習指導者研修（40日間）」でZOOMによるオンライン研修を行いました。研修室での受講を希望する研修生の意向にも配慮し、研修室と自宅の両方で同時に講義を受けることができるハイブリット形式で実施しました。ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使って、オンライン研修生同士もグループワークを行ったり、スピーカーマイクを使ってオンライン研修生と教室にいる研修生の間で意見交換をして、アクティブ・ラーニングが実践できるよう、講師と一緒に工夫して進めました。



オンライン研修

### 3 看護に関する 普及啓発

#### 『高校生のための一日看護体験セミナー』を開催！

「高校生のための一日看護体験セミナー」を、9月と11月に開催しました。596名の応募者の中から、看護職を目指す96名の高校生のみなさんにご参加いただきました。現役看護師等による講演、進学相談、研修機器の見学・体験、白衣の試着を体験しました。

11月のセミナーの動画をナースプラザ公式チャンネルにアップしています。

◆詳しくはホームページをご覧ください。

### 4 看護職員 地域確保対策

#### 応援します！ きらり輝く看護組織づくり

200床未満の病院を対象に看護師等就業協力員が訪問し共に考え魅力ある職場づくりを応援します。2月19日（金曜日）説明会を実施します。お気軽にご参加ください。

#### 看護職の職場復帰を応援します！

東京都が指定した病院で年2回実施する「手厚くしっかり体験コース」と、実施施設の計画した研修期間で受講する「気軽にさくっと体験コース」の研修に取り組んでいます。詳細はホームページをご覧ください。

◆お問合せは「コールセンター」まで

TEL：03-6276-1718 受付時間：(9時～16時30分)

お電話お待ちしております。

# 会員係からのお知らせ

2021年度 入会・継続受付中です！

会員有効期間 2021年4月1日～2022年3月31日

## ◆2020年度会員（自動継続）へのご案内◆

新年度（2021年度）は2021年4月1日よりスタートいたします。

会員情報の変更や年会費納入がお済みでない方はお早めをお願いいたします。

会員情報登録内容に変更がなければ、会員情報変更届の提出またはキャリアースからの変更申請は不要です。

※会費を納入していただくと継続手続き完了となります。

口座振替（口座情報登録済）	2021年1月以降順次お引落としにより継続手続き完了となります。 ※引落日は毎月27日（土日祝日の場合は翌営業日）
勤務先で取りまとめて納入	研修の受講料・協会ニュースの発送部数等、会員サービスに影響いたしますので、お早めの納入をお願いいたします。 ※2021年度の会員サービスのご提供は納入済となった後に開始となりますので、新年度開始前の3月中旬までの納入をお勧めします。
銀行振込	
コンビニ収納	
口座振替（口座情報未登録）	会員情報変更届に口座情報をご記入の上、ご提出ください。 口座情報登録完了しますとお引落としにより継続手続き完了となります。

継続入会年会費：15,000円

（東京都看護協会年会費5,000円・東京都看護協会会館維持費5,000円・日本看護協会年会費5,000円）

## ◆2021年度新規・再入会のご案内◆

詳しいご案内は [\[東京都看護協会ウェブサイト\]](#) → [\[入会のご案内\]](#) をご覧ください

### <手続き方法>

#### ①書面入会

2021年度用 都道府県看護協会・日本看護協会 入会申込書／会員情報変更届（オレンジ色で印字）をご記入の上郵送してください。

#### ②Web入会

インターネットより入会申し込みができます。書面での申し込みよりも早く入会手続きを行うことが可能です。

### <年会費>

新規入会：20,000円（東京都看護協会入会金5,000円・東京都看護協会年会費5,000円・東京都看護協会会館維持費5,000円・日本看護協会年会費5,000円）

再入会：15,000円（東京都看護協会年会費5,000円・東京都看護協会会館維持費5,000円・日本看護協会年会費5,000円）

※入会履歴が不明の場合は、メールまたはお電話にて会員係までお問い合わせください。

## 新型コロナウイルス感染症見舞金給付について

### 心よりお見舞い申し上げます

◆公益社団法人東京都看護協会の会員の方が、新型コロナウイルス感染症に罹患したことが原因で所属する施設において就業することができなかった場合、1件につき金10,000円を「新型コロナウイルス感染症見舞金」として給付いたします。

<申請者> 所属施設長の承認を得て本人が申請

<申請方法> [\[東京都看護協会ウェブサイト\]](#) → [\[各種ダウンロード\]](#) より新型コロナウイルス感染症見舞金申請書をダウンロードし、必要事項を記入および所属長の署名・捺印の上、ご郵送ください。

## 公益社団法人東京都看護協会 事業部会員係

TEL：03-6300-5452（会員係直通） FAX：03-6300-0875 Mail：nyukai@tna.or.jp

受付時間 月曜日～金曜日 9：00～17：00（土日祝除く）

## 表紙の紹介

作者：佐久田 祐一 (Yuichi SAKUTA)

1987年生まれ 沖縄県 浦添市在住

作品名：はる

制作年：平成24年(2012年)

材質等：画用紙、色紙、のり

寸法(タテ×ヨコ) 900×600mm

コミュニケーションの手段としては全く言葉を話さないが、作品の中では、言葉は豊かな世界として彼の中に息づいているのが見てとれる。

小さい頃から黙々と粘土で、配管まで付けた精密なトイレを作ったり、サインペンで掃除機の絵などを描いていた。小学生になると自分の部屋の壁にいろがみを切って風景のようなものを作り始める。養護学校(現・支援学校)の中学部のとき美術教師が用意した大きな青い画用紙の真ん中に、魚を一匹切り抜いて張り付けたのを皮切りに、画面を一枚ずつ完成させて作品にするようになる。以来、「ハサミ、画用紙、いろがみ、のり」によって様々な作品をつくりだしている。作品は自宅の自分の部屋で下書きもなく一気呵成につくられている。

文字や形をぎっしりつめこんだ抽象的な作品が多いが、表紙の作品を含む四季シリーズは彼の作品でも一本の木に四季の移ろいを描いたためずらしい作品だ。



## 公益社団法人 東京都看護協会 役員等の選挙について

◆令和3(2021)年6月24日(木)に開催される「令和3(2021)年度通常総会」の終結をもって任期満了となる役員及び推薦委員について、下記により選挙を実施いたしますのでお知らせいたします。

○選挙期日 令和3(2021)年6月24日(木)

○場所 公益社団法人東京都看護協会会館 1階大研修室1A・1B

○立候補受付について

当協会の役員及び推薦委員に立候補しようとする方は、会員5名以上の推薦を受けて、所定の様式(立候補届出書・立候補者推薦届)に必要事項を記入の上、令和3(2021)年3月22日(月)から3月26日(金)までに、公益社団法人東京都看護協会 選挙管理委員会 事務局まで届け出てください。

所定の様式が必要な場合は、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

公益社団法人 東京都看護協会 選挙管理委員会 事務局  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿四丁目2番19号 TEL: 03-6300-0730

○改選役職名及び改選数

役職名	改選数
副会長(保)	1
副会長(看)	1
専務理事	1
常務理事	1
職能理事(助)	1
職能理事(看)	1
地区理事(西部)	1
地区理事(南部)	1
地区理事(多摩北)	1

## 事務局からのお知らせ

### 令和2年度 秋の叙勲 (敬称略)

#### 受章おめでとうございます

瑞宝単光章

こん れいこ  
今 麗子  
むらた ちゆき  
村田 千幸

元独立行政法人地域医療機能推進機構東京高輪病院 看護部長

元公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院 看護部長

### 〔令和2年度 寄附金寄贈者・賛助会員 御芳名〕 (敬称略 順不同)

当協会の公益事業活動および新型コロナウイルス感染症対策緊急支援へのご協力に、心より御礼申し上げます。ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

#### 一般寄附金寄贈者 御芳名

株式会社ジンテック OC & Associates 株式会社 日本看護用品協会 一般財団法人松本財団  
佐藤 岩雄 山田 誠一郎 黒澤 和子 株式会社テレビショッピング研究所 東洋羽毛首都圏販売株式会社  
大沢 哲 株式会社シミズ・ビルライフケア

#### 新型コロナウイルス感染症対策緊急支援寄附金寄贈者 御芳名

太宰 光子 中村 恭子 三上 修 大磯産業株式会社 A hundred photo exhibition  
大山 税 野澤 政伸 中村 謙 齋藤 勝雄 社会福祉法人読売光と愛の事業団 経営企画出版  
コートキーパー 有限会社しんばし 株式会社鎌倉製作所 バッドミュージックグループ音楽出版  
株式会社On Court Racquet 西尾 忠良 瀬戸 光一 佐藤 涼 江端 徳人 樋口 宗武 加藤 清吾  
株式会社メビウス製薬 株式会社レスメッド プントデザイン有限会社エアルームプロダクツ  
ガーベラボランティア団体 富田 紀義 野口 由紀 薩摩建設株式会社さつま会 竹内 進哉  
ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社 株式会社ウィルエージェンシー  
石井 啓二 堀田 芳生 株式会社オールウイズ 飯田 佐恵 山下 啓一 戸村 智恵 奥 郁子

#### 寄附物品寄贈者 御芳名

原田 祥子 東洋羽毛工業株式会社 風雲 空 ビジョンタヒラ株式会社 東京北ロータリークラブ  
台北北ロータリークラブ 株式会社セイワ・プロ プラス・ケア株式会社 大陽日酸株式会社  
村中医療器株式会社 株式会社ファンケル池袋西武本店 新宿区立新宿養護学校  
株式会社ヤクルト本社首都圏支店 株式会社クレオラボ 株式会社イングリウッド  
東洋羽毛首都圏販売株式会社 スタジオナミヤ大阪 新興和製薬株式会社 鈴木 美智子  
SOMPOコミュニケーションズ株式会社 公益財団法人東京都歴史文化財団 呉 乗倫  
株式会社エル・ディー・アンド・ケイ プレミアグループ株式会社 カシオ計算機株式会社

#### 〔公益社団法人日本看護協会経由〕

ナガイレーベン株式会社 株式会社ファーストリテイリング 株式会社マーキュリアインベストメント  
国際ロータリークラブ アメジスト大衛株式会社 東京海上日動火災保険

#### 賛助会員 御芳名

フォーク株式会社 伊豆アート印刷株式会社 公益社団法人東京都助産師会  
株式会社オーセンティックス 株式会社インターメディカ 東京インターナショナルリスクサービス株式会社  
株式会社安全推進研究所 Im SAFER 研究会 一般社団法人日本病院会東京都支部 株式会社山菊  
株式会社トータル保険サービス 一般社団法人日本能率協会 ニプロ株式会社東京第一支店  
一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 睦技研株式会社 株式会社信公  
一般社団法人日本動物看護職協会 株式会社トップ東京営業所 株式会社ジェイ・エム・エス  
株式会社学研メディカルサポート 株式会社日本ケアコミュニケーションズ 佐藤 岩雄 株式会社EPARK  
一般社団法人医療の質・安全学会 一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会  
株式会社ヤクルト本社首都圏支店 株式会社シーエイチシー サクラグローバルホールディング株式会社  
黒川 亨 生井 悦子 カシオ計算機株式会社 和洋女子大学 株式会社キタジマ  
株式会社キューネットワークス 株式会社トップクラスジャパン 大成祭典株式会社 ビジョン株式会社  
株式会社朝日エル 東洋羽毛首都圏販売株式会社 アイホン株式会社 日本光電工業株式会社東京支社

<令和2(2020)年12月31日現在>

#### 《当ページへのお問合せ先》

公益社団法人東京都看護協会 総務課 庶務係 TEL: 03-6300-0730